

ソノひびヨリ

自らを由とする
ひとたちへ贈る
極私的な旅の記

ソノひびヨリ 2023年 第九号 <早春期>

発行元
たびたびまたたびプロジェクト
〒530-0041 大阪市北区天神橋一丁目18-27
Tel.06-6351-3474 Fax.06-6351-9364
発行日 2021年1月5日(季刊)

企画 たびたびまたたびプロジェクト編集委員会
制作 株式会社アートグローバルファン

WEB <https://sonohibiyori.net/>
<https://www.instagram.com/sonohibiyori>
<https://twitter.com/sonohibiyori>



目次

旅を始める前に 『旅への準備』

ソノひびヨリ 三重県・伊勢市 『日本の心のふるさとへ』

「写して候・寄って候」天皇御陵踏破の旅 八二代〜八八代御陵

ブチモフ動物探訪 長崎県 長崎バイオパーク

旅でワシが喰った駅弁を買って喰ってみろ！4

ソノひびヨリ 南オーストラリア 『赤い大地にワイルドフラワーを求め』

世界拳闘紀行 第九話 中米 メキシコ

ソノひびヨリ 京都府から福岡県まで 『平氏滅亡の旅へ』

おれがむらただ 五四献目から 丑三つ迄(秋田県)、六一献目 日高見(宮城県)

旅を始める前に

第八回 リレーエッセイ 旅への準備

新年、あけましておめでとうございます。
ソノひびヨリも三年目を迎えました！

これもみなさまのお陰です、それとコロナ禍にも負けず「旅」を続けてきた同志一同の賜物だと思っています。本年も愛読のほどをよろしく願っています。

さて、新年の始めは「旭・朝日!？」(笑)「で飾りたいと思い、写真ライブラリーから集めていると、以外や以外に「旭(こちらの漢字で書きます)」の写真が少ないことに気づいたのです(苦笑)。旅先では必ずというくらいに、「旭」を狙いに行っているのに・・・。

改めて、旅の写真を見ながら記憶を辿ってみると、わりと撮影できず断念していることが多いことに気づきました! それは「なぜか」と言えば、まだ陽が昇らない時間に行動しなければ成らないからです。一応、前日・当日の天気予報で晴れは確認して行動するのですが、それが中々に上手く行かないことが多い。

その一番の理由は簡単で、日が昇る東側に雲がある時が多いからです。頭上や他の方位には雲はないのに「東にだけ雲がある・・・」、そんな残念な空模様が徐々に明けて行くのをただ呆然と見つめ立ち尽くすだけなのです(苦笑)。

薄い雲なら陽が昇り出せば、日差しが雲を飛ばし美しい風景が広がる可能性もあります。厚い雲に覆われていれば、もう諦めるしかない。

このパターンによく当てはまるロケーションは、「海にぶっかり浮かぶ離島」や「山々に囲まれた山中」など水蒸気が発生しやすい場所に多いと記憶していますね。科学的根拠はないですが(笑)、何度も泣かされた経験があります。

そんな場合に私が現場でよくするのは、明るくなる日の出方向に雲を発見したら、日の出を諦めて「明けゆく空の色」を意識した画にすぐさま変更です! 運が良ければ、先ほども言った「日

差して雲が飛ぶ」場合は、その流れで「日の出」も捕らえられることもある(すこく、稀ですが)。でも、東の水平線(地平線など)から空高く厚い雲が覆っている時は撤収です(笑)、どうすることもできません! こんな時には早い諦めが肝心ですね、次の目的地に移動です!

でも、「せっかく早起きして来たんだから、もう少し粘りたい」方には、雲の状態(上にいくほど雲が薄くなっている場合ですよ!)をみて暫く待つてみるといいです。ただ、その場合は「日向き」を止めて「回れ右!」をして順光を狙います。ある程度、昇ったお日さま(雲で霞んでいる太陽)は、ただの逆光写真になっってしまうですね。これを、あえて狙う人もいますが(笑)。これだと、ロケーションが分らず、どの場所でも撮っても同じになってしまう。だから、逆を向き陽の当たる(順光に)風景を撮影します。これなら対象物に高い山などがあれば「朝」を感じさせることもできます。

最後に「旭の撮影」アドバイスってほどではないですが、カメラに「朝夕日機能(今のカメラにはほぼ付いている機能です)」があれば利用することをおススメします。それと、「HDR(ハイダイナミックレンジ)機能」があればそれもいいです、ハイとアンダーの許容範囲を拡大してコントラストを弱めてくれます。すなわち、「明るい部分」と「暗い部分」どちらの階調も犠牲にすることなく、より自然(肉眼で感じる)な描写が可能になります。太陽の原形をとどめてくれて、逆光で周辺が真っ暗にならなくなりますよ。

さらに写真精度を高めた方には、「露出の測光ポイント」を動かして「適正」と感じるポジションにすることです。その場合の「ブラケティング(段階露光)」は、「適正」の前後・二段、特に明るいほうに多くするほうが良いと言われていますよ。

モニター画面(部分拡大して)を見ながら「飛びすぎないよう」「潰れないよう」露出補正しながら少し多めにシャッターを切る

ことが良いです。
日の出は時間との勝負です、できるだけ素早く撮影したいので、やはり「朝夕日機能」がおススメですかね! さあ、今年も旅に出てあなただけのいい写真を撮ってください!

ソノひびヨリ

To the heart of Japan

2012~2013

第三話 三重県・伊勢市 『日本の心のふるさとへ』

関西から伊勢への出発は「大阪上本町駅」より

二〇一二年の正月明けから一年半に渡り、伊勢での仕事が長期滞在をしていた。次の年が伊勢神宮の「第六二回・式年遷宮」のため、伊勢の街は厳かにその準備に入っていた。そんな中で過ごした日々を思い出し、新年一月なので「伊勢詣」を紹介することに。この旅には相棒がいる、このマガジンに「天皇踏破の旅」を連載している「還暦(越え)写真家」だ。彼も、この当時はまだ五十路で若かった(笑)。あまり厳かではない二人が、厳かに「伊勢詣」をするのだ。

正月一日過ぎに、大阪上本町より近畿日本鉄道「宇治山田行き」特急に乗車、車両は「階建てビスタカー」だが、我々は普通の席、二階席は人気があるのでなかなか座れない・・・。近年では観光列車の「しまかぜ」が人気を呼んでいる、一度は乗車してみたい。

「伊勢詣」の基本、まずは「外宮・豊受大神宮」にお参り。大阪上本町より約二時間で「近鉄伊勢市駅」に着く、この駅は「JR伊勢市駅」と接続駅になっていて、JRの路線(引き込み線)を越えて改札に向かう。この路線橋は五〇m以上あるので、改札から乗車の時は時間に余裕を持って行動した方がいい(一度、乗り遅れたことがある・苦笑)。

改札を出ると目の前は「伊勢神宮外宮参道」がり、約六五〇mほどで「外宮」入口に到着。「火除橋」を渡ると、左手に「手水舎」があるので必ず手と口を清めるように。相棒もこの時ばかりはしっかりと清めていた、自分で穢れている事に気づいていたんだらうか・・・。この横には新しく開館した「せんぐう館」があったので、お参りの後で入館することにした。まずは「豊受大神宮」さまにごあいさつ。樹齢千年を越す楠を過ぎると、第一鳥居、第二鳥居をくぐれば「正宮」。この「外宮」内には外宮本社、外宮末社、外宮摂社あわせて一四宮があるので全てお詣りするのめんどろいと思う。ただ、時間がかかるので我々は「正宮」のみのお詣りになった。

余談ですが、伊勢神宮にまつわる神社が、伊勢市内、また近郊に二五社あります。これを、全てお詣りする巡礼旅をしている人も多くいます。

「式年遷宮」を知るにはここ、勾玉池の横「せんぐう館」へ。われ歴史が古く、琉球王国以前に存在した北山の国王・北山王の居城だった。

お参りの後、「手水舎」まで戻り「せんぐう館」に入館。この「せんぐう館」では、「式年遷宮とはなにか?」が詳しく説明されている、時間のある方は入館をオススメします。その「式年遷宮」を簡単に説明すれば、二〇年に一度、東と西に並ぶ聖地に新しく「正宮(正殿)」を移し替えるお祭りなんです。もともと簡単に言えば、二〇年に一度、西に建てていた正殿の横(東側)に新しく正殿を建て、神さまにお参り頂くお祭りなのです。この説明パネルで、我々バカ二人組も良く分かりました(笑)。それと、何と言っても実物大の「外宮正殿」模型は圧巻です、近くでは決して見られないので、その大きさには驚くはずですよ!! その他にも「外宮殿舎配置模型」や「渡御御列模型」があり、大人三〇〇円で満足できる施設です。

「外宮」参拝の後、伊勢街道・内宮前「おはらい町」で名物買食いのオンパレード。

気が付けば、午後三時半。この日の「内宮」参拝は諦めたが、相棒のたつての願いを聞き、伊勢街道・内宮前「おはらい町」に向かった。「外宮」からバスで約二〇分内宮前に着いた。四時前なのに以外と人が多い、さすがは「おはらい町」と感心している間に、相棒が「三重豚の豚まん」を二つ買って来たのだ。「後、二時間もすれば夕食でしょ」と言えば、「だから、ひとつだけ」と言う(絶句)。この相棒はいつもこの調子で、珍しい物、興味のある物を買いたがる・・・(私より四歳も年上なのでよ・苦笑)。その後も目を離した隙に、「松坂牛串」を二本買って来た・・・。もう、こうなれば好きなのうにさせるしかない、私も腹を括り食べたい物を食べる事にしたのだ。伊勢湾の「アワビ海賊焼き」を食べて、「デザート」に「赤福本店」の「冬季限定おしるこ」を食べた、その結果、お腹は減らずに夕食は九時になった・・・。遅い夕食とお酒、明日朝一で「内宮」に参拝なのに大丈夫かと相棒を見て心配になった。

朝の「内宮」参拝は気持ちがいい。横には気持ち悪そうな相棒。翌朝、深酒をして、気持ち悪そうな相棒を車の横に乗せ、仕事前に「内宮」へ向かった。ホテルから来るまで一〇分程度で駐車場に到着。駐車場から歩いて直ぐに、神域に誘う「宇治橋」

がある、五十鈴川の清きせせらぎが聞こえる。横からは、気持ち悪そうな穢れた相棒の「嘔吐き」が聞こえる、そんなこと無視して橋を渡るのだ(笑)。

宇治橋を渡り、内鳥居をくぐり右に曲がれば約二〇〇m先に第一鳥居が見える、その先は完全な神域となる。「火除橋」を渡ると、第一鳥居との間に「手水舎」がある、相棒に「ちゃんど清めなさい、穢れは全て落しなさい」と。相棒は両手を清めた後、なんと! 口をすすぐものなのに、「手水舎」の水を「ゴクリ」と飲んだのだ。あきれて何も言えない私を横目に、「なんだか、気持ち悪いのが治った!」と言っている。やはり私は、彼を無視することにして進むことにした。

神域に入り、左に曲がると第二鳥居、神楽殿を通り過ぎれば参道の真中に榎木が立っている、これを過ぎると「皇大神宮・御正宮」。

「皇大神宮・御正宮」の下に着いた、なんとも言いがたい空気を感じた。言うなれば「自然そのもの」と言えはいいのだろうか、太古の森の中に迷い込んだような・・・。静寂の中、先に参拝している人がいたので、邪魔をせず厳かに石段の下で待つ事にした。

相棒と参拝を終え、隣りにある「第六二回・式年遷宮」の為に建てられている「御正宮」を見に行った。ここは先ほどの「御正宮」とは違う空気感だ、まだ神さまの御霊がお移りになっていないからだろう。そんなことを思いつつも仕事の時間が迫り、「内宮」を後にすることにした。それと、不思議だったのが「手水舎」の水を飲んだ相棒だ、お腹も痛くならず元氣よく参道を戻っていく。そんな相棒の後姿を見ると、この場所は「日本の心のふるさと」なのかも、つくづく思ったのだ。あつ、それと「内宮」神域内にも正宮をはじめ、別社、末社、摂社あわせて一四宮がある、時間のある方は参拝してください。さらに、神域のすごい空気感を感じられると思います。



遷宮に先立って架け替えられた「内宮・宇治橋」に橋が昇る。

真新しい第六二回式年遷宮御正宮	勾玉池の横にあるせんぐう館	第62回式年遷宮の前の外宮正宮。
	第六一回式年遷宮の御正宮	伊勢街道内宮前おはらい町



百舌鳥・古市古墳群 勝手に世界遺産登録記念

還暦前、写真家の「写して候・寄って候」 天皇御陵踏破の旅

鎌倉時代<前期> 八二代~八八代天皇陵

写真取材 赤木 賢二

五十路もなかばの頃、ふと考えた。
日本国とは何なのか、日本人とは何なのか
その答えを探す為に、2600年を遡る時空の旅へ出た
イデオロギーなど関係無い、ただ、
今そこに残る時間の集積を写してみたい



隠岐にて撮影

八二代 後鳥羽(ことば) 天皇陵

諱 尊成 たかひら・たかなり 在位年 西暦一一八三〜一一九八年
陵 形 十三重塔 皇 居 平安京(京都市上京区) 水無瀬神宮(大阪府三島郡)

所在地 大原陵 京都府京都市左京区大原勝林院町
最寄駅 京都市営地下鉄「国際会館」下車、京都バスで「大原」下車、徒歩約一〇分。

八〇代・高倉天皇の第四皇子。一一八三年に平氏が八二代・安徳天皇を擁して西走した後、祖父「後白河法皇(七七代天皇)」の院政のもとで即位した。安徳天皇の異母弟に当たる後鳥羽天皇。新古今和歌集の編纂でも知られ、文武両道といわれている。鎌倉時代の二二二年(一一九八年、土御門天皇への譲位後)、「承久の乱」で鎌倉幕府執権の「北条義時」に敗北、隠岐に配流され、二二九年に都に戻る事なく、同地で崩御した。
その御陵は京都市左京区大原勝林院町にある「大原陵」に治定されている。宮内庁上の形式は石造十三重塔。また、島根県隠岐郡に火葬塚がある。遺骨は火葬塚に納められたが、明治六年に明治天皇の命により大阪の水無瀬神宮に合祀された。
その他、広島県三次市「天皇山」と呼ばれる山があり、佐賀県神埼市春振町にも後鳥羽院御陵と呼ばれる陵が存在している。後鳥羽伝説が西日本に多く残っている。



1 三千院を越え、朱塗りの橋を渡り歩くと表示板が見えてくる。石段を進めば御陵だ。



3 明治天皇の命により、御霊を合祀した「水無瀬神宮」。



2 はるばる、隠岐にきた(笑)、後鳥羽天皇火葬塚へ。港から約40分も歩いた。

八三代 土御門(つちみかど) 天皇陵

諱 為仁 ためひと 在位年 西暦一一八八〜一二一〇年
陵 形 八角丘 皇 居 平安京(京都市上京区)

所在地 金原陵 京都府長岡京市金ヶ原金原寺
最寄駅 阪急京都線「西山天王山」下車、徒歩約三〇分。

「八三代・土御門天皇」は、一一九八年に父の「八二代・後鳥羽天皇」の譲位により三歳で即位。当然のごとく後鳥羽上皇による院政がしかれる。土御門天皇の穏和な性格が、鎌倉幕府に利用されるのを恐れた「後鳥羽上皇(八二代天皇)」は退位を迫り、一二一〇年に異母弟の「八四代・順徳天皇」に譲位、同年、上皇となる。
「承久の乱」には、土御門上皇の関与がなく処罰の対象にはならなかったが、父の「後鳥羽院(八二代天皇)」が隠岐に配流されたのを忍び、自ら望んで土佐国に配流された。後に、幕府の温情により都に近い阿波国に移され、守護に命じ「阿波の宮殿」を造営もさせた。一二三一年に出家し、同年三七歳で崩御した。
その御陵は京都府長岡京市にあり、宮内庁上の形式は八角丘。また、徳島県鳴門市大麻町池谷に「土御門天皇」を御祭神とする「阿波神社」があり、その横地各に火葬塚もある。



1 綺麗にされている御陵だ、土御門天皇のお人柄がそうさせているのだろう。



3 立派な堀がある土御門天皇火葬塚。ここでも土御門天皇の人望を感じる。



2 土御門天皇を主祭神とする阿波神社、直ぐそばには、火葬塚がある。



① 薄曇りから、完全な曇天になった・・・、できれば再撮をとも考えたがこのまま掲載（笑）。



③ 右手前の住宅で見えないが、奥には構造物
② 曇天の中、真っ正面からの御陵。せっかくだと思える、こんもりとした土饅頭がある。見晴らしの良い高台まで昇ったのに・・・。



① 御陵のある「泉涌寺」は、皇室の菩提寺（皇室香華院）として御寺（みでら）と呼ばれているらしい。



② ここは霊明殿には歴代の天皇や皇后、皇族の尊牌（位牌）が奉安されている、由緒正しきお寺だ。
③④「泉涌寺」の「仏殿」横に参道の案内の石塔があった、真っ直ぐ進む。石段を昇れば御陵だ。

八五代仲恭天皇は、父・八四代順徳天皇と祖父・八二代後鳥羽天皇（上皇）の鎌倉幕府執権・北条氏追討「承久の乱」を實行するため、一二二二年に父から讓位され四歳で踐祚する。だが、幕府軍に敗北し父・祖父とともに配流され、その後、鎌倉幕府により皇位を廃された。即位より在位期間七八日と最も短く、時代に翻弄された天皇。
また、長く天皇とほもとめられていなかったが、明治政府により八五代天皇として歴代天皇に加えられた。

所在地 九条陵 京都市伏見区深草本寺山町
最寄駅 京阪本線「鳥羽街道」下車、徒歩約一五分。

八五代 仲恭（ちゆうきょう）天皇陵
諱 懐成 かねなり 在位年 西暦一二二一～一二二二年
陵 形 円丘 皇 居 平安京（京都市上京区）



⑥⑦ 御陵（火葬塚）から徒歩約25分ほどで「真野宮」がある。順徳天皇御遺品と伝えられる短刀、硯、扇子などが社宝として保管されているらしい（見てないが・・・苦笑）。
④ 順徳天皇の佐渡到着地・恋ヶ浦。この海を順徳上皇は眺めたのだろう。
⑤ 県道306号沿いにある「順徳院御配所跡」、上皇の足跡が多く残る。

八四代 順徳（じゆんとく）天皇陵
諱 守成 もりなり 在位年 西暦一二二〇～一二二二年
陵 形 不明 皇 居 平安京（京都市上京区）
所在地 真野御陵 新潟県佐渡市真野四五七 最寄駅 なし
父「八二代・後鳥羽天皇（上皇）」の強い意向により、「八三代・土御門天皇」の讓位を受けて踐祚し、一四歳で即位する。先帝の上皇門天皇は上皇となったが権力は無く、後鳥羽上皇による院政が続く。父・後鳥羽上皇の鎌倉幕府討幕計画に参画し（父以上に倒幕に積極的だったと言われている）、その計画に備えるため、一二二二年に子の「懐成親王（仲恭天皇）」に讓位して上皇となった。だが、「承久の乱」を引き起こしたものの倒幕は失敗に終わり、「順徳上皇」は都から佐渡へ配流となった。
佐渡島では二年在島の末に一二四二年、四六歳で崩御。佐渡島で火葬され、その跡に松と桜を植えて目印としたのが「真野御陵（現・火葬塚）」※明治三年五月までは御陵とされていた。火葬の翌年には、京都に御遺骨を移し、父の後鳥羽天皇墓所のかたわらに安置された。この火葬塚は、御陵と同格扱いで宮内庁に管理されている。また、この近くには「順徳上皇」を祀った「真野宮」がある。



② 配所前から御陵まで距離があった。あいにく望遠レンズを持ち合わせてなく最大のズームで撮影した。望遠レンズは重いで敬遠がちだ（苦笑）。
③ 真野観光センターを通れば、御陵（火葬塚）の参道だ。



① 明治22年まで御陵と認められた。今の名称は「順徳天皇御火葬塚」と呼ばれ宮内庁に管理されている。また、現在の御陵は82代・後鳥羽天皇と同じ大原陵で、父の傍に安置されている。

所在地 観音寺陵 京都府京都市東山区今熊野泉山町 泉涌寺内
最寄駅 JR・京阪本線「東福寺」下車、約一、五km、徒歩約二〇分。

八六代 後堀河（ごほりかわ）天皇陵
諱 茂仁 とよひと 在位年 西暦一二二一～一二三二年
陵 形 円丘 皇 居 平安京（京都市上京区）

八六代後堀河天皇は、八〇代高倉天皇の第二皇子の守貞親王（後高倉院）の第三皇子。承久の乱の首謀者・関係者である、「後鳥羽上皇・土御門上皇・順徳上皇」を配流し「八五代仲恭天皇」を退位させた鎌倉幕府。次代の皇位継承者には、乱の首謀者である後鳥羽上皇の直系子孫を排除、後鳥羽上皇の兄・守貞親王の三男であり、出家していた茂仁王を「八六代後堀河天皇」として即位させた。その御陵は、京都府京都市東山区今熊野泉山町の泉涌寺内にある円丘の観音寺陵。

八七代 四條(しじょう) 天皇陵
諱 秀仁 みつひと 在位年 西暦二二三二〜二四二年
陵 形 九重塔 皇 居 平安京(京都市上京区)

所在地 月輪陵 京都府京都市東山区今熊野泉山町 泉涌寺内
最寄駅 JR・京阪本線「東福寺」下車、約一、五km、徒歩約五分

一二三二年二月二日に一条室町邸で生まれ、同年に親王となり、父・後堀河天皇の皇太子に立てられた。一二三三年に父・後堀河天皇の譲位に伴って二歳で即位した。
鎌倉幕府の北条泰時により、武家法が制定されたその年にわずか一二歳で崩御、そのため皇子女はない。
その御陵は、父・後堀河天皇陵と同じく「泉涌寺」の寺内地にあり、宮内庁上の形式は石造九重塔。またここには、皇霊殿(宮中三殿の一つ)において多くの歴代天皇・皇族の霊が祀られている。



① 驚くほど立派な廟だ。石造九重らしきものは見えない・・・。



③ この御陵は再訪が必要のようだ、14代もの天皇が眠っているから・・・。



② 泉涌寺内「泉涌水屋形」の横に参道への案内の石柱がある。「霊明殿」の横を通れば御陵。

八八代 後嵯峨(ごさか) 天皇陵
諱 邦仁 くにひと 在位年 西暦二二四一〜二四六年
陵 形 方形堂 皇 居 平安京(京都市上京区)

所在地 嵯峨南陵 京都府京都市右京区嵯峨大竜寺芒ノ馬場町 天竜寺内
最寄駅 京福電車「嵐山」下車、約五〇〇m、徒歩約六分

八八代・後嵯峨天皇は、「承久の乱」で自ら上佐に配流された八三代・上御門天皇の子である。土御門天皇の配流後は、母方の大叔父「中院通方・上御門定通」の許で育つが、一門の没落で苦しい生活を送り、二〇歳を過ぎて元服すら出来なかった。
先帝・四條天皇が突然崩御したため、皇位継承の問題が持ち上がり、有力公卿や鎌倉幕府の恩恵のため問題は難航した。最終的には「執権・北条泰時」と京にいる「六波羅探題・北条重時」の力により後嵯峨天皇として即位した。この時代は公武がうまくいく、比較的に安定した時代だったと言われていた。その御陵は、世界遺産になっている天龍寺境内にある、形式は檜皮葺、宝形造の法華堂。その御陵に並ぶように、生前にかわいがった「九〇代・亀山天皇」の御陵もある。



① 天龍寺境内、八方睨みの雲龍図の天井画がある法堂を通り過ぎて、右手に曲がり進めば御陵。



③ せっかくここまで来たのだから、展望台まで来た。いい眺めだ、昇った甲斐があった。



② 天龍寺より桂川の展望台に続く遊歩道を、昇ると途中で火葬塚がある。

ぷちもふ どうぶつ探訪

行ってみた
ZOO



第12回

長崎バイオパーク

動物たちの暮らす
アンデスの森にお邪魔しま〜す



アルパカ「モコちゃん」が雨の中お出迎え

1年以上温めていた、長崎バイオパークとPAWへの訪問がやっとかなった。最近は何動物番組によく登場するバイオパーク。平成10年頃には、泳げなかったカバ「モモ」(絵本も出てます)を覚えている方も多いかも知らない。

長崎バイオパークと言えば、やっぱりカビバラ!池を囲む広々とした放飼場を使ったカビバラの飼育では「エンリッチメント大賞」*を受賞している。

飼育頭数では徳島動物園が1位だけど、1頭の暮らしスペースでは1位かも!冬には毎日カビバラ温泉と、カビストーブが実施される。カビ達は、近所さんが差し入れてくれたザボンやミカンなどの柑橘を浮かべたお風呂に入り、湯上りはカビストーブで温まる!もうこれ以上ない極楽な風景です!カビストーブは人間も休憩して良いので、一緒に暖をいただけます。時間を忘れてと自分もカビバラになってしまうぞう。

園内には黒キツネザルや、ミーアキャットが放し飼いになっていて、各所にガチャで買えるおやつが販売されている。放し飼いの動物に会えるかどうかは動物の気分次第ですが、時間を狙って行けば、キツネザルが肩に乗っておやつを食べることも。その日は朝一番にキツネザルに会うことができました。

一番楽しみにしていたのは、ビーバー池。SNSでやっているビーバー散歩を楽しみにしていたけど、その日は雨で、担当の飼育員さんもお休み!残念な結果でしたが、日中でも元気に活動するビーバーたちを見ることができた。

園内は植物もよく手入れされていて、季節ごとに訪れたら素敵だろうと思う。特にフラワードームという温室には数々の植物が咲き誇り、可愛がられている事が手に取るようにわかる。その温室の中で、蝶々やコウモリ、ナマケモノにワイカワセミが暮らしている。運の良いことに常連さんがいて、ナマケモノの位置を教えてくれた。飼育員でも見つけることが難しいらしい。それくらいドームの中を自由に移動して暮らしているのだ。

長崎バイオパーク!なかなか1日では時間不足だったけど、私の中では「通いたくなる動物園」になった。隣接する「PAW」については次回!

*「エンリッチメント大賞」は、動物園・水族館に対する社会的な意識を高め、環境エンリッチメント(飼育動物たちの生活環境を豊かにするさまざまな工夫・試み)を推進するため、市民ZOO ネットワークにより創設されました。

長崎バイオパーク
〒851-3302 長崎県西海市西彼町中山郷2291-1 TEL:0959-27-1090
営業:10:00~17:00(入園締切16:00) 休園日は無し 駐車場無料
※台風、大雪などの悪天候の場合は臨時休園する場合あり
大人1,900円 中高1,300円 3歳~小学生900円

動物たちの暮らす
アンデスの森にお邪魔しま〜す



カビの楽園



カビ温泉はカビ専用だけど、カビストーブは人間もあたるよ!みんな人間こいカビたち。



ビーバー池

念入りに体の油をぬりぬりしてお手入れ中のテラスくん。お風呂も活発に動いています。



フラワードーム



花々が咲き誇るフラワードームには、ナマケモノやワイカワセミが暮らしています。

今日も温泉とストーブで癒されたわあ〜



なぜか羽田で鳥取の空弁？

鳥取牛駅弁 1,080円(当時) 購入駅 羽田空港

駅弁ではないですが、本日は「空弁」の紹介～！。駅弁でも「ほかほか駅弁」として同じパッケージで販売されている、「鳥取牛駅弁」です。「空弁」は機内用火気持ち込み禁止なので(伯養軒のあったか牛たん弁当を思い出す・苦笑)、ほかほか機能はついていません。その内容は、隠れたブランド牛と言ってもいい「鳥取牛」を使用していて、牛肉煮と牛そぼろが全体にまぶしてあるキャッチコピー通りの「どっしりとした大地の味わい」。どんな味かっていうと、少し濃く甘口に味付けされた柔らかい牛肉とそぼろが白ご飯に良く合う、この味付けならおかずが少なくても気にならない。副菜の「サツマイモ甘露煮、ごぼうきんぴら」も、いいアクセントになっている。でも、鳥取の空弁が「なぜ？」成田で売っているのだろうか・・・、旨ければそれでいいじゃないか！



旅でワシが喰った
駅弁

を4

買って喰ってみろ！
旨いか 不味いか
そんなこと
考えちゃいけない
列車移動で腹が減る
ご当地名物を喰いたが
時間がない
乗り継ぎの隙に
駅弁を喰らえっ。

レトロ、かつていい～150周年記念駅弁！

鉄道開業150周年記念弁当「北陸めぐり」1,580円(税込)

購入駅 某デパート(大阪市内)

「鉄道の日」に某デパートで「鉄道開業150周年」を記念した「駅弁の歳時企画」が開催していた。コロナ禍で思うように旅ができないから、ここは汽車旅気分を味わうのもいいかと購入！！10月1日から「鉄道開業150周年」を祝って記念企画として、全国の駅弁31社が「復刻駅弁」を販売、そのひとつがこの駅弁だ～。今回は「高野商店」さんの「御辨當・北陸めぐり」を購入、その内容は福井・石川・富山のうまいものを詰め合わせた駅弁。ご飯の上には、福井の「カニそぼろ、へしこそぼろ」と「サバの塩焼き」、富山からは「ばい貝、ホタルイカ、フリ」、石川のエントリーは「能登牡蠣、能登フグ」と「白エビ」、定番の「厚焼き玉子」まである！まさに、ご当地海の幸のオールスターがそろっている駅弁だね。これを食べれば、北陸沿岸汽車旅を満喫できた気分になる、嬉しい駅弁。

高野商店の創業地「いまじょう」時代をイメージしているパッケージ、いい感じ。



物の始まりは日本橋、購入は新横浜。

日本橋 幕之内 1300円

購入駅 新横浜駅(神奈川県)

お江戸日本橋の幕の内駅弁を、なぜか「新横浜駅」で購入～。この駅弁は、とある惣菜・べんとうグランプリの「駅弁・空弁部門」で優秀賞を受賞している。まず、フタを開けると「どど～ん」と鮭塩焼が主張してくるぞ！何が良いかって、鮭塩焼の下に竹の葉を敷き匂いが移らないようにしている気遣いが嬉しい。そしておかずの内容も「銀鮭塩焼」を筆頭に「牛肉・牛蒡の煮物」「野菜天ぷら」「あさり煮付け」「野菜炊き合わせ」「玉子焼き」、お江戸を感じさせる味付けと食材。おお！上等じゃねえいか！と気っ風よく食べれる駅弁だ。



「旅の始まりは今も昔も日本橋」、歌川広重の「東海道五拾三次・日本橋」デザインのパッケージ。

超メガトン級のだし巻に驚き！ その重さに箸がふるえた！

備前岡山発 だし巻とあなご弁当 1,250円購入駅 岡山駅(山陽本線)

「これは、ちょっとビックリ！」駅弁だ、パッケージから本体を抜きフタを開ければ！？玉子好きなら、小躍りしそうな玉子のボリューム！！お弁当の半分が「あご出汁のだし巻」が占めている。その下にご飯があるかなと覗いても、そこには何も無く、ただ重量級の「だし巻玉子」がドン！と居座っている(喜)。そして、残り半分スペースには、出汁のきいた炊き込みご飯、上に乗っているのが、定番「焼きあなご(2切れ)」と「白焼きあなご(2切れ)」だ。「白焼き」の上には「ちりめん山椒」が乗っていて、いいパンチになっている。その他の副菜といえは「ハチミツ梅干し」のみ、商品目通りの「だし巻」と「あなご」のスーパータッグチームなのだ。もひとつ、驚いたのが「備前岡山発」とパッケージには表記されているのだけれど、製造元が広島県三原なのです(笑)。そんなことはいい！とにかく満足の駅弁でした。

フタを開ければ、超存在感！！びっくり「だし巻」が登場。「だし巻」を持ち上げれば、その重量にまたびっくりする。



ひとつはそのまま食べ、もうひとつは付属のマヨネーズをつけ味変を楽しみました。



これぞ北陸のB級グルメ駅弁です～！

ソースカツ棒 840円 ※当時の価格

購入駅 福井駅(北陸本線)

福井と言えば「元祖・ソースカツ丼」がB級グルメとして有名だ、そこで小腹が減っていたのでスナックがわりに「ソースカツ棒」を買ってみた。これ「丼」を「おにぎり」にしてしまった優れもの！ソース合えご飯を、大葉・豚肉で包み掲げであるアイデアは凄いな。カツには甘めのソースがかかっていて、中のご飯のソースと違う味付けにしてあり、飽きることなく食べられる。この「ソースカツ棒」は冷めていても、ソースの旨みが効いているので旨い「B級グルメ駅弁」だ。

食べやすい大きさ、持ち運びがいいコンパクトサイズ。朝食にぴったり。



駅で買ったあったか駅弁、あわてて空港で食す・・・

仙台・伯養軒のあったか牛たん弁当 1,350円(税込)

購入駅 仙台駅(宮城県)

この駅弁はちょっとした事件(苦笑)があり、思い出深いお弁当なのだ。その事件と言うのも仕事が終わって、仙台駅から仙台空港へ向かう(帰る)途中で購入した。前夜は「名物牛タン」に有り付くことなく終わってしまい、せめて駅弁でも「牛タン」を食べたい！その上、「暖かい～」のがいいと思いき足で買ったのだ(時間もなかったから、あまり考えずに)。これがミスの元、空港に着き、搭乗30分前のアナウンスを聞いたとき「はたっ！」と思いついた！機内は火気持ち込み禁止だ・・・(絶句)。絶望気分で慌て紐を引き、暖め時間の10分を待つ・・・、搭乗開始まであと20分を切る、とにかく慌てたうっかりミス事件だった(苦笑)。その駅弁のお味は、「あめし」の上には「焼と煮」の牛タンが二列に並んでいる。少しピリ辛の焼牛タン、甘く煮込んだそぼろ牛タン、お店で食べるよりは落ちると思う、でも駅弁なら充分堪能できる味だ～。なんと言っても暖かいのがいい！！

パッケージには青葉城跡の「政宗公騎馬像」、この時は修復準備のため囲われて見られなかった。

朝食にちょうどいいサイズの駅弁です！！

六甲山縦走弁当 780円(税込) 購入駅 新大阪駅(大阪府)

この日は早朝出発で朝食が食べられなかった、そこで新大阪駅の淡路屋さんで物色！で、選んだのが「六甲山縦走弁当」、朝食にちょうどいいサイズを購入だ。この駅弁は「日本山岳会」から山歩きに最適なお弁当は何か？と聞き出し「ハイキング弁当」として発売したお弁当らしい。だけど、あまり売れずに名称変更、中身はそのままで、名前を「六甲山縦走弁当」に変えただけでバカ売れした！その内容は、魚系「鮭塩焼き、鯖旨煮、昆布巻き、かまぼこ、いかなご釘煮」、肉系「すきやき風牛肉煮、牛蒡煮、鶏旨煮」、そして「だし巻き玉子」に「奈良漬」が一口サイズで入っている。おにぎりは「十穀米」と「麦入りご飯」、さすが「日本山岳会」から聞き出しただけあるエネルギーが充実しそうな内容だ～。

米原駅近くの老舗駅弁屋さんで購入～



井筒屋「行楽弁当」 1,200円

購入駅 米原駅西口近く井筒屋で購入

定番中の定番「井筒屋」さんの行楽弁当、季節によって変わる近江の食材を使った駅弁です。このときのご飯は「まめご飯、マス寿し」でした、おかずの中で目を引くのは、近江名物の毒々しい赤色の「赤コンニャク」。この赤コンニャクは、派手好きな織田信長が赤く染めさせたとか言われています。お肉には、近江牛のしくれ煮？と合鴨があり肉系が欲しい御仁にもいい幕の内弁当です。



でワイルドフラワーを探して旅をすることにした。パスから「シャークベイ」まで約八五〇km、ひたすら走れば九時間の行程だが我々はワイルドフラワーを探し前に進む、亀のよくな歩みになるだろう。三日間をかけ、赤い道とブッシュの中を行ったり来たりするのだ。

パスから約三時間ほど走って、ようやくオーストラリアらしい風景が現れた！ 埃っぽい赤い大地に水波み風車、学生時代に観た映画、「マッド・マックス（初演）」の世界だ。国道一号線から「ナンバン国立公園（奇岩で有名な）」方面に向かう枝道に入った。枝道に入れば、すれ違う車もほぼ無い、たまに出合うのは大型のカンガルーくらい（これ本当です）。

赤い大地と道に興奮していたが、「んうう！」ワイルドフラワーが咲いていないじゃないか！ いや、ワイルドフラワーらしき植物が見あたらないのだ。「これはどういうことか？」とネイチャーガイドのグレンに聞いた。その答えは「去年、大きな自然火災があった。ワイルドフラワーがたくさん咲くのは来年度だよ」とハンドルを切りながら鼻歌まじりに語っている。本当かどうかは分らないが、とにかく今、ワイルドフラワーが無いことだけは事実だった！ 結局、この日は六時間ほど走り回って一枚の成果もなく終わった。ホテルに着くと、グレンと直ぐミーティングを始めた、彼が言うには「明日からは車を止めて、ブッシュの中に入り足で探そう」。ワイルドフラワーが撮影できなければ、どうしようも無いので、いやいやながら彼の提案を受け入れた。

人も歩けばワイルドフラワーにあたる、時々・・・。

翌朝、ワイルドフラワーを探すため、グレンが心当りのある場所へと車を走らせた。一時間ほどで到着、そこからは昨夜の提案どおりに徒歩だ。ブッシュの草木の背丈は二m、完全に姿が見えなくなる、声を出し居場所を伝えながら、各自一人一人探す作戦をとった。そうしているとグレンの奇声が聞こえた、その声のする方に行くと、この旅、初のワイルドフラワーが咲いていた！ カンガルーの足の形に似た「カンガルー・ポー」、その近くには「キャッツ・ポー」という花だそう。先ほどのグレイクの奇声は「ポー~~~~！ ポー~~~~！」と叫んでいたのが分った（笑）。

二つの「ポー」を撮り終わり、その周辺を見回していると

ラワーエッセンスなどに使われる「カウスリップ・オーキッド」やピンク色がかわいい「スターフラワー」が咲いている。今日は幸先がいい！ この調子で次の場所へと移動だ、どこに行くかはグレンに任せ、「まかしたぞグレン！」。

車に乗り込み、次へと場所移動。グレンが、花の咲いていそうな所を見つけて車を止めた、その時に彼は言った。「言い忘れていたけど、ブッシュの中には毒蛇や毒グモが住んでいるから気をつけてね〜」、絶句だ。我々はブッシュの前で躊躇していたら、肩をポンと叩かれ「レッツゴー！」てヤツはブッシュの中に消えて行った。こちらもヤケクソ気味にブッシュを掻き分け入って行く。その結果、ここでもワイルドフラワーに出会えた。後で知ったのだがブッシュには、もっと恐ろしいモノたちがいるって事を・・・それは発情中の鼻息の荒いオスのカンガルー、これに出合えば完全ノックアウトらしい。そして、もっと厄介なのは米粒より小さな「タニ」なのだ、このタニに噛まれたら感染症などをひき起し大変なことになるらしい。今から考えればバカな事をやっただとと思う（苦笑）。でも、ブッシュに入ったからこそ見たモノも多いのは事実、オージーの自然と触れ合えた事はいい経験になった。

パスに戻る途中で、奇岩ピナクルズ亭でカップ麺をすするので、二日間でワイルドフラワーもそれなりに撮れ余裕もできたので、パスに戻る途中に観光がてら「ナンバン国立公園」の奇岩ピナクルズに立ち寄ることにした。ここは観光でメジャーどころ、我々はまだ興味がない、そんな雰囲気を感じたのかグレンは奇岩群の真ん中に車を進めていく。ここ国立公園なのに大丈夫か？ と思いつつも、黙ってまかせていた。ロケーションの良い所に車を止め、何やらゴソゴソしだしたのだ。突如、車に牽引しているトラクターでお湯を沸かしたのだ？ そうしたら大声で「ランチタイム〜！」、青空の下に日本のカップ麺を突き出した〜。おお、どよめきと歓声が上がる！ 偉いぞグレン！！ 日本食に飢えていた我々には、この旅で一番旨く、思い出に残った味だった。その上、こんな場所で緑のタヌキを食べるなんてハッピーサプライズだ。

後で聞くと、我々が来る前の日に買ってくれていたのだと、最後の最後まで陽気で心やさしきオージーのグレン。ありがとう。

ソノビヨリ

Seeking wildflowers in the red earth
2008
Mar. 15-23 day

第二回話 南オーストラリア・パスからシャークベイ間
『赤い大地にワイルドフラワーを求め』

織烈な旅の始まりは、静かな関西国際空港のラウンジから二〇〇八年という古い旅の話だけど、「自然は変わらない」ので少々お付き合いください（笑）。この旅は「とにかくワイルドフラワーを探して、写真を撮って来て欲しい。」とのオーダーの元に始まったのだ。何か嫌な予感がしたが、そのオーダーを受け三月に関西から飛びだった。

南オーストラリア州パス国際空港には、乗りたいエアラインランキンダ上位の「シンガポール航空」で「シンガポール・チャンギ国際空港」に向かう。約三時間ほどのトランジットを経て、深夜「パス国際空港」に到着した。外の気温は、南半球なのに肌寒い・・・、季節は日本と真逆で夏のはずなのに？ 赤道を越え、はるばる南半球に来た実感が湧かなかった。

大都市パスからワイルドフラワーを探しに赤い大地に向かう、そこは・・・

ホテルで仮眠後、いよいよ出発！ 出勤ラッシュのパス市街を歩いて、ミートポイントであるネイチャーガイドのオフィスに向かった。パスは「老後住みたい街ランキング」一位に何度も輝いている街だけど、あまりピンとこない「ただの都会」に感じる（ゴメンナサイ）。

ネイチャーガイドのグレイクと挨拶を交わすと、早々にパスを出立した。パスから北上して、世界遺産の「シャークベイ」を目指し、その間



これこそオージーのイメージだ、ただ、花が咲いていない！

奇岩ピナクルズ亭でカップ麺	モトルカー	カウスリップ・オーキッド	エイコン・バンクシア
	ブルー・ティンセル・リリー	レッドポーカー	キャッツ・ポー



来た、ついにこの国に手を出す時が！

第9回メキシコ。もはや多くの説明を必要としない、言わずと知れたボクシング超大国！どうですか皆さん？ざっくり好きなボクサーを挙げてみてください。大概のファンはベスト5にメキシカン入るでしょ？(適当)。最高級ブランド国や！

余り膨大な名選手を輩出し過ぎた国なので、手をつける気にならないと言いか畏れ多いというか、どこから始めていいやら…。

本気でかかるとメキシコだけで10回分くらい軽く費やしちゃうので、絞りに絞って独断と偏見で筆者が好きな選手だけピックアップで「70年代」「80～90年代」「00～10年代」の3回に分けるね。それでええねん。

マチズモとは男らしさを誇る文化！

まず、ざっくりメキシコのボクシングの歴史を遡ると…。もともとメキシコにも男は戦って強くてなんばや！という男らしさを誇るマチズモが美徳としてあり、根付いているので(近年は政治思想に利用されてきた事や、フェミニズムシエンダー論等の観点から、マチズモの客観的考察も進んでいる)その証明にうってつけのボクシングは魚に水の相性でこの民族に浸透。1910年代以降アメリカでボクシングがビッグビジネスになるのと歩みを同じくして元々の国民性に加え、攫千金を夢見た男が続々と虜になったそう。

キッドアステカ！

メキシコ初の世界王者は1933年にJ・ウェルター級王座に就いたバトリング・シヨウ(本名ホセ・ペレス・フロレス)。その後もバンタム級で米倉健志と対戦した殺人パンチャー、ホセ・セラ(1959年王者)など続々王者が誕生する。

そんな中、王者ではないけど上記の選手よりもやけに名を残しているのはキッドアステカ(本名はルイス・バラモ)。ルチャの選手みたいなカッコいいリングネーム。ともかくメキシコの国内ウエルター級王者でレバプロの名手だった。そう、この時点で「メキシカン」レバプロの構図が成り立っているというか伝説的なのだ。彼は1932～1961年にかけて255試合!!を戦い抜いた。まさにマチズモの権化。

過去のバンタムで怪物って言ったらこの人だったよな気がする

我々日本人にとって、バンタム級って特別じゃないですか？あしたのジョーの影響もある？古くはファイティング原田が黄金のバンタムのエデル・ジョフレを破って2階級制覇したバンタム級。圧倒的カリスマで90年代を駆け抜けた辰吉もバンタムに拘った。また絶対王者として長谷川穂積が君臨したのも、神の左で山中慎介がKO量産したのも、そしてモンスター井上尚弥が4団体統一したのも…。でも半世紀前の怪物的バンタムと言えば、ルーベン・オリバレスです。すね！

顔からして強打者顔してるやん

1965年にプロデビューしいきなり24連続KO。世界初挑戦時の戦績が51勝49KO1分！凄いけど、当時はどれだけ勝った世界に挑戦出来へんねん！と思う。でも…最初のタイトル獲った時がピークと言われてたりするくらい、それ以降は(複数階級制覇や王座奪還するもの)圧倒的じゃなくなっていく。酒が大好きだったとか言うし、天才にありがちなムラがありすぎるタイプ？初戴冠時のインパクト大き過ぎて過大評価レジンエンド？などと言ってしまうたら失礼過ぎるけどそれを差し引いてもブンブンフックを振り回す攻撃的ボクシングは魅力。

日本人なら一度は観ておけ名勝負と言えは

桜井孝雄や牛若丸原田など日本人選手との対戦も多いが、今でも語り継がれる名勝負と言えは、日本で金沢和良との防衛戦。オリバレスの強打暴風に曝され続ける金沢の鬼気迫る粘りが人間として異常なレベルの異常な試合。金沢が優勢なラウンドもあり大激闘。この試合はオリバレスの強さより金沢のタフネスで歴史に残る名勝負になったって感じですが、でもオリバレスは後のインデビューで金沢の事を、タフネスよりフットワークとディフェンスが素晴らしいからって挙げてますね。

そんなオリバレス、キャリア後期にはアレクシス・アルゲリョに13回KO負けしてるけど、その辺の次のスターにバトンを渡す感じも個人的にはグッときてしまう。

ゼー……ゼット!!

このバンタム級はメキシカン好きにも特別な階級。それは先のオリバレスに続いて伝説的メキシカン王者を輩出し続けた階級だから。とか勝手に思っているんですね。その中でも誰か一人挙げろいと言われたら、そりゃ、KOアーティストとカルロスサラテです。で、もう一人挙げろと言われたらそのライバルのアルフォンソ・サモラです。二人の頭文字を取って、Zボーイズ、だゼット！

二人の背景、ストーリー込みで人々は熱狂

元は同じジムで同じコーチ・エルナンデス師匠について学んだ盟友同士の二人。しかし金で師匠と揉めてサモラは移籍。以降両者はもの凄い罵り合いを繰り返す。だったら拳で遺恨に決着付けようじゃん！そしてWBC王者サラテ対WBA王者サモラとしてリングで相見えるのである(当時メキシコでの人気はサモラが上だったぞ)！ドラマやん！この時の二人の戦績がサラテ(45勝44KO)、サモラ(29勝29KO)。漫画やん！

試合は両者ガン拳を出す好勝負。なれど徐々にサラテの技術が上回りサラテペースに。そして4回KOで完全決着！

それはそうと、この試合開始早々、山下清みたいなランニング姿の男が乱入する珍事があった。危うく歴史的決戦が台無しになるところやった。

敗北したサモラはこの日を境に気に下り坂。二

世代じゃないけど昔からサメ子だったよ

中学生の頃リング・ジャパンで購入したカルロスサラテKO集。テープが擦り切れるくらい(おっとゼット世代には理解できない表現)観た。なんつうかあしたのジョーの最強王者ホセ・メンドーサにそっくりなのよ。高度な攻防技術に一撃必倒の強打を針の穴ほどのピンポイントに叩き込むちよびヒゲ姿！そうか！ホセのモデルはサラテ！と思ったが、あしたのジョーの連載終了後にサラテは登場した選手。つまりサラテのモデルがホセ？



ZBOYZの「S」を「Z」に変えてみる事でよりダサくしてみた。



なので、機動戦士Zガンダムをバロってみたい。色々遊んでます。

これまた強打者顔してるのさ

ホセクエバス。いやピピノクエバスと言った方が通りは良いかも知れぬ。「ピピノ」て野菜のキュウリで意味らしいが(何故それがあだ名？、何だか語感つちゅうか響きがkawaii。手の平にのる小動物扱いとか、プリキュアの妖精で「○○ピノ」って喋るキャラとかでありそう。もしくは「□サイズのアイス」それはピノ)。



でもその語感とは真逆な残忍な必殺豪腕を持つ男、それがピピノクエバス。14歳でデビュー(早っ)、12戦目までは7勝5敗のうだつの上がらぬ普通の戦績。しかしそこから覚醒！1976年にアンヘルエスパダを2回KO王者になった時には18歳！そこからまあ、日本の天才辻本章次を初防衛でKOしたのを

懐かしの発屋が中古レコードショップで叩き売られるレコードジャケットっぽくしてたり。

好きなモノと好きなモノをマッシュアップするのが好き

80年代中量級ビッグ4のうち2人に絡むも

皮切りに11連続防衛の10KO！天性の強打者！何人も頭の骨を砕いたのであだ名は「ジョー・クラッシャー」

あのレナードもタイトル初挑戦がクエバスなのはリスキーだからと避けてヘニテスにしたそう(な)いやいやヘニテスも歴史的な選手やで！。

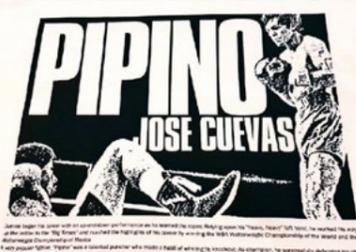
しかし、この男も後のスパースター、トーマス・ハーンズ相手の防衛戦で2回KO負け、クエバスのトレーナーが試合後に残した「体重だけでなく体格でも階級分けて欲しいっすわ」という言葉も有名。

それ以降はハツとせず。83年にはデュランに4回TKO負け。

そんなピピノも思わずTシャツにしてしまいました。ビッグ4にはなれなかったけど、忘れ得ぬ拳豪を胸に刻んでおこうと。などおしてあり。

メキシカンを語り出したらきりがなし

いや〜駄目だ。あの選手あの選手も語ってない。で、次回は80～90年代に活躍したメキシカンにスポットを勝手に当てて勝手に語ろうかな。



という訳で、それではまた！

ソノビヨリ

Journey to the end of the Heishi

2019~2020

第二五話 京都府から福岡県まで『平氏滅亡の旅へ』

平氏滅亡の旅の始まりは、京都にある清盛公の首塚から。還暦写真家の「天皇陵踏破の旅」を編集していると、紙面（画面）上で紹介しきれない訪問地が多くある。「八一代安徳天皇」前後は、特に面白く色んな所を巡っていた。それはある意味、「天皇陵踏破の旅」から逸脱しているが（笑）、まるで巨匠・司馬遼太郎の「余談だが・・・」のようで興味を引かれた。それは、「安徳天皇」の足跡を追いかけていくと、当然のことながら「平家」の足跡にもなる。編集会議で削られた訪問地を繋ぎあわせていけば、一つの旅が出来上がることに気づいた。それが今回紹介する旅『平氏滅亡の旅へ』。従来の旅行記とは少し違うのですが、楽しんで頂ければ幸いです。



その境内には、清盛を祀る「首塚」がある。

旅のスタートは京都市東山区にある西国三十三カ所第一七番札所の「六波羅蜜寺」から。ここには「平清盛公坐像（重文）」や清盛を祀る「首塚」など、清盛の死後から平氏滅亡への始まりを感じるからだ。

お詣りを済ませ、京都から、平氏の「都落ち」で目指した神戸に向った。神戸市内には「福原宮跡」があり、多く平氏の名残がしるされてきた。神戸市兵庫区切戸町には、鎌倉幕府執権第九代執権「北条貞時」の建立と伝わる、高さ八、五mの「清盛塚石造十三重塔」がそびえている。その十三重石塔の右横には、清盛像が佇んでいる。そして「清盛塚石造十三重塔」から、直ぐ近く、清盛の大修築が有名な「大輪田泊」へ向かった。おそらくここから、鎮西（九州）に平氏の死地への旅が始まった。夕日を見ていると繁栄を極めた平氏が万感の思いで敗走する姿が映し出される・・・。



兵庫県神戸市 清盛塚石造十三重塔



「大輪田泊」、昔の名残も無い港になっている。

一挙に西へ、太宰府大満宮より京を覗く。一一八三年（寿永二年）七月より始まった敗走、九州太宰府で平氏に開わりのある武士たちの力を借りようとしたのだが、源氏側に寝返る武士が多いため九州からも落ちることになる。瀬戸内を漂流するように京へと向かっていった。源氏に寝返った武士たちは、損得勘定でそうしたのか？なぜ、恩義を感じ平家再興を目指さなかったのだろうか？ここ太宰府大満宮で考えてしまった。行き場を失った平氏軍は海路を辿り神戸へと向かうしかなかった。私もそれに習い、太宰府から北九州市門司まで車を走らせ、フェリーに乗船することにした。このフェリーに乗れば、深夜の通過だが福原宮奪還の上潮になる、木曾（源）義仲軍を破った「水島沖の戦跡」近くを航行するから。ただ、海上を航行する船の上、旨く撮影できるか不安（苦笑）。朝、大阪南港に着き一旦、家に帰る事にした。この後の敗

走ルートは後日の旅にした。



福岡県 太宰府天満宮



「水島沖の戦跡」、奥の明るく光っている所が水島の工業地帯だ。

福原奪還、勝つて兜の緒を締めよ。一瞬先は闇か。別日、自宅より神戸「福原宮跡」の荒田八幡神社を目指す。ここには「安徳天皇行在所址」と記された石碑が建っている。また、この兵庫区平野には平氏の痕跡が多く残っている。「平野」と地名を付けたのも平氏と関係しているのだろうか。「雪の御所跡」や「平野商店街」などを巡り、先に向かう事にした。



平野の町を見おろすように建つ荒田八幡神社。



須磨灘に面した高台に立つ、「安徳帝内裏跡伝承地」。

「福原宮跡」から約一〇キロ、車で約二〇分、須磨浦公園近くにある「安徳宮」。ここは一時期、安徳天皇が内裏を置いたと言われ、「安徳帝内裏跡伝承地」と呼ばれている。赤い三つの鳥居の参道、その奥に安徳天皇を祀る小さな社があり、子供を守る神さまとして地域住民に崇められている。幼くしてその生涯を終えた、安徳天皇だからこそだろう。「安徳帝内裏跡伝承地」より、徒歩七分ほどで「一ノ谷戦の遺跡」に行けるようだ、車を置いて義経が下ったであろう坂を歩いてみる事にした。実際に歩いてみると、これ中々の急勾配だ！ 還暦を迎えた身にとっては注意し坂を下る、風景



義経が下ったであろう坂、この下り坂はキツイ！！ ヒザを痛めないように気をつけて歩いた（苦笑）。

に気を取られないように（笑）。歩きながらふと思った「この坂を騎馬で下れたのだろうか？」。当時はもちろん道の整備もされていない、「よくある勝者の戯言かもしれない」と思い須磨の灘に見入っていた。山陽電鉄の路線を越え、西国街道に出れば「一ノ谷戦の遺跡」がある。山手より攻め降りてきた源氏軍（奇襲）に、防戦を強いられた平氏軍の姿が浮かぶ、さぞ激しい戦いだったのだろう・・・。余談だが、織田信長が好んで演じた「敦盛」は、この戦の中、元服前の一六歳で命を落とした。だが、ここで命を落としたことにより、後世に語り継がれているのだ。さあ、また海を渡ろう。敗退の道を、死への道行を。



平氏の最後の戦場となった間門海峡。



須磨浦公園内に建つ「一ノ谷戦の遺跡」



落日に導かれ、明石大橋を渡る。



香川県高松市 屋島スカイウェイからのパノラマ

屋島で破れ、平氏は何を思う。その行き先は・・・。
翌日は天気にも恵まれた、車を走らせ向かうのは、高松市屋島東町にある「安徳天皇社」。屋島半島の東側海岸に広がる町の中に鎮座している。

ここは、眼前に入り江を望み、背後に険しい屋島の峰々があり、戦に有利な場所であった。平宗盛は、行宮を建て陣營をつくるのが「安徳天皇社」のあたりだと言われている。確かにこの地形を見れば、平氏軍が優勢に戦えたはずだが・・・源義経軍の背後からの奇襲で、全軍総崩れで敗北した。なんとまあ、「一ノ谷」の時も背後からの奇襲だったが、二度同じ攻められ方で負けるとは・・・。



天候に恵まれ、いいお天気で「安徳天皇社」を参拝できた。



「源平屋島古戦場」この標識どこを指しているのかな（苦笑）。

「ノーフォーク広場駅」から五分もすれば、関門橋をくぐり神社に着く、橋の真下と言つてのいくらいの所である。この辺りはとにかく歩けば、平氏を偲び供養する石塔などが数多く点在している。それと、歩いていると関門海峡の潮の流れの速さには驚く、それはもう急流のごとく速いのだ！「早瀬（はやとも）の瀬戸」と呼ばれているのも納得できる、この流れのように源氏が平氏を滅ぼすのかと思えば感傷に浸り、流れを見つめていた。



成をすするため？の「和布刈神社」の鳥居がある。



「早瀬（はやとも）の瀬戸」



誰を供なっているのだから、無数の姫さまの石仏。

門司側からの「壇ノ浦」を見終え、「和布刈神社」直ぐ横に入口のある「関門トンネル人道」で山口県側の「赤間神宮」を目指す。車で向かってもいいのだが、あまりに迂回が多く不便に思え徒歩で行くことにした。車だと約一七分で徒歩なら約二五分で「赤間神宮」に到着できる。この場所での旅が終わる、胸には万感の思いだ。
ゆっくと、喘み締めるように歩いたが、あつと言う間に目的地に到着。ここ「赤間神宮」は安徳天皇を祭神とする天皇家、安徳御陵も直ぐ隣りにあり、平氏武将の墓「七盛塚」に守られ眠りについている。目の前には関門海峡「壇ノ浦」、この海底のどこかに「草薙の剣」があるのなら、安徳天皇が

次に向かうのは屋島スカイウェイを走って、車で約一七分くらいの「源平屋島古戦場」だが、あまりにも地形が分りにくいため（苦笑）写真も少し撮影して後にすることにした。屋島スカイウェイは絶景のドライブルートなのになあ・・・。
ここまで来たので、四国八十八ヶ所・第八十四番札所「屋島寺」に寄ってみることにする。この宝仏館（どちらかと言うと美術館扱い）には、源平盛衰絵巻物、源氏の白旗、屋島合戦屏風などが収蔵されていると聞いていた。何となく近代的な建物を見て、少し興醒めしてしまい入館せず、早々に退散した（笑）。



四国八十八ヶ所・第八十四番札所「屋島寺」。



屋島の峰、確かに険しい様だ。



源平屋島合戦古戦場の「六萬寺」。安徳天皇と建礼門佛子をお祀りしている。そこからは、集落を見下ろすことができました。

ここに眠っているのも必然だと思う。
潮騒の中に琵琶法師の声が聞こえてくる・・・。

祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。
沙羅双樹（さらそうじゆ）の花の色、
盛者必衰（じようしゃひつすい）の理（ことわり）をあらはす。
おごれる人も久しからず、ただ春の夜の夢のごとし。
猛たけき者も遂にはほろびぬ、
ひとへに風の前の塵におなじ。



山口県「赤間神宮」、この階段の側に安徳天皇御陵がある。



壱宮城だ、海に消えた安徳天皇のための宮殿なんだろう。



鐘のモニュメント、向かいが福岡県門司。

屋島スカイウェイを戻り、市街地を抜けて到着したのが「六萬寺」だ。ここは、屋島の行宮が完成するまで、安徳天皇の行在所（急場凌ぎの仮行宮といつたところ）となっていた所だ。中世までは大きな寺だったが、今はこじんまりとした印象を受けた。ひっそりとした境内の小高い場所に「安徳天皇生母徳子之碑」があり、祠には安徳天皇と建礼門徳子をお祀りしている。
高台からは住宅街が見える、当時は田畑だったのだらう、この風景を眺め平氏一門は何を考えていたのだろうか。滅び行く者の悲しみと絶望なのか、それとも都に戻りあの繁栄を夢見ていたのか。どちらにしても、「人とは儚きもの」などと柄にもなく考えてしまった。
さあ、最終決戦の地に向かう。



境内の高台にひっそりとある祠

香川県から約四二〇キロの道のり
「最終決戦の海」を両岸から望む。
香川県高松市から北九州市門司までのロングドライブ、老骨鞭打ち約四二〇キロの道のりだ（苦笑）。普通なら五時間ほどで到着なのだが、七時間以上もかかってしまった。歳には勝てない・・・古戦場の訪問は翌朝にしてホテルで就寝。
翌日は門司レトロから平氏の痕跡がのこる「和布刈（めかり）神社」まで約二キロほど歩いた。オンシーズンは運行している観光列車に乗れば「和布刈神社」手前の「ノーフォーク広場駅」まで行くこともできる、良い天気なら歩くことをおすすめする（健康のためにも）。



季節限定運行の観光列車「瀬風号」



ノーフォーク広場駅

「春の夢のように」か、この旅も夢のように終わりを迎えた。帰りの道中で平氏縁の「厳島神社」に参拝して帰ろう、願うことは平氏の語りが後世に続くように。



厳島への渡し船より、厳島神社の鳥居。

おとなのふらたが

一合一肴
ITIGOU HITONA

酒は日本酒、四季など関係なく燗酒一筋。真夏に汗かき呑むゆる燗、真冬に心を解かす熱燗を。一献一合、酒場の隅で旅路を思う、一合一肴の旅に出る。階段昇って席に着く、今日の品書き何だろ、それが本日の目的地。



あわす肴
にしんの煮付け 五〇〇円

さあ、そんなこだわりがあるバランスのいい酒には、やはりこだわりの肴がいい！そこで選んだのが大将お手製「にしんの煮付け」だ。大将曰く「身が太くないと旨くないし、食べ応えがない」と、だから中々、メニューにでない(悲)。一口いただけは、確かに身は太く厚みがあり食べ応えもある！その上、コトコト煮た「にしんと昆布」に甘じよっぱさが奥の奥まで浸透している。寒い夜にはこの甘じよっぱさと燗酒の温もりが一番だ。



酒/丑三つ迄 こま美*特別純米酒・火入 (秋田)
肴/にしんの煮付け

五四 献目

秋田酒類製造
丑三つ迄 こま美
特別純米酒・火入
原料米 秋田酒こまち・美山錦
精米歩合六〇%
日本酒度十一
酸度一九
アルコール分一六五%
産地 秋田県秋田市川元むつみ町

今宵は、草木も眠る「丑三つ迄」。なんとまあ、すごい名前だと思いついて「あまりに美味くて午前二時まで飲んでしまう」という意味で命名したらしい。この酒は、全国新酒鑑評会、〇年連続金賞を誇る看板銘柄の「高清水」が、様々な問題を解決して生まれたブランドらしい。まず、常温で頂くとほのかにフルーティな香りが広がり、後口に少しシブ味を感じた。ならば燗でいただけは、先ほど感じたシブ味がゆるまりいい熟成感が出てきた。フレッシュさを感じさせながら、最後はどっしり厚みも感じられるバランスの良い酒だ！

酒/八兵衛 伊勢錦 生原酒 (三重)
肴/おでん・大根

五五 献目

元坂酒造
八兵衛 伊勢錦 生原酒
原料米 伊勢錦 精米歩合六〇%
日本酒度非公開 酸度非公開
アルコール分一六%
産地 三重県多気郡大台町柳原



今宵の一献は三重県の「元坂酒造」さんの「八兵衛伊勢錦生原酒」。この原料米「伊勢錦」(山田錦の母にあたる)が非常にめずらしい酒米らしい。日本古来の在来種で、一度は絶滅してしまっただが、種子保存してあった数粒を増やし、平成元年から自社で栽培を復活させたのだ。そんな日本古来の酒米を使用した風味は、しっかりとした米の香りがする、一口含めば、濃厚な味わいが襲ってきたぞ。その中には甘味と酸味がいいあんばいに主張してくる。燗にすれば酸が立ってきて、さらに旨くなる。八兵衛の味のコンセプトである、「濃厚ながら飲み疲れない後味」まったくとその通りです。

あわす肴
おでん 大根 時価

ちよいと忙しそうなので、あまり手間がかからない肴がいい。そんな時は冬場だけの楽しみ「おでん」にする。「おでん」の中でもムラタ屋の名物と言っても過言ではな、名付けて「丸太大根」だ〜！！日本古来の酒米使用の酒には、日本の家庭料理、出汁の効いた「おでん・大根」がぴったり。太さはもちろん、高さが一〇センチ以上はある(一本の大根から四つしか作れない)！薄味だけど中まで沁みた出汁と、プリンのカルメラのようにオツムに乗っかる「とろろ昆布」がいいアクセントになる。冬限定の最高の肴なのだ。



酒/日本心 (やまとごころ) 純米辛口紅 (愛媛)
肴/イペリコ豚と青森ニンニク焼き

五六 献目

武田酒造
日本心 純米辛口紅
原料米 松山三井・しずく媛 精米歩合七〇%
日本酒度十一〇 酸度二二二
アルコール分一五%
産地 愛媛県西条市三芳

あわす肴
イペリコ豚と青森ニンニク焼き 八八〇円

パンチの効いた熟成香のある、酒の肴にはパンチの効いた「イペリコ豚と青森ニンニク焼き」にする。「イペリコ豚」は言わずと知れたブランド豚、脂身の中に上品な甘さがある、イペリコ豚の上にゴロゴロ口転がっているのが「青森ニンニク」。これも国産ブランドだ、香りも抑えめでクリと甲辛の中間のような味わい。今宵も酒が進む、無理を効いてくれた大将に感謝。



本日の一献は訳ありの酒だ！(笑)！と言うのも今回紹介する酒は、ムラタ屋には置いていない酒なのです。先日、大阪肥後橋にある「愛媛真大飯事務所」前で、愛媛の酒の試飲販売が開催されていた。もちろん試飲すると名だたる酒蔵の中で気になる銘柄があった、それが西条市「武田酒造」さんの「日本心純米辛口紅」。プースなので冷やでの試飲だったが、その味は辛みの中にもお米の香り、カラメルのような甘みと少しの雑味を感じたのだ。これは、燗で呑んでみたと思えば即購入！

その酒を大将に無理を言い、ここで吞ませてもらっている次第だ。燗にすれば、あの雑味が熟成酒のようなマイルドな風味に変わった、その上パンチもある！これは超燗向きの酒だ！旨いぞこのお酒！

酒/自然酒 五人娘 生酛純米酒 (千葉)
肴/ゆで落花生

五七献目

寺田本家
自然酒 五人娘 生酛純米酒
原料米 雪化粧・美山錦
精米歩合 七〇%
日本酒度 一〇〜十一
酸度 二・五〜三・八
アルコール分 一五%
産地 千葉県香取郡神崎町神崎本宿

今宵の一献は、千葉県からオーガニックな一本「自然酒五人娘生酛純米酒」を紹介。ラベルに「自然酒」とある通り、全て自家製・手作りの「寺田本家」さん、蔵の歴史も古く江戸時代のギリギリ前期なのです。原料となるお米は全て近隣の有機農家さん達との無農薬栽培、発酵も昔から蔵に住み着く（笑）微生物が発酵させている、全て寺田ファミリーで仕上げている。そのお味は、酸のすっぱさと渋み、そして柔らかな甘味が広がる。他の酒にはない独自の風合だ、これが「自然酒」なのかと驚く！ 燗にすると、酸味の角が取れマイルドになり甘味が際立った、「好みが見られるお酒」だと思うが、面白い今宵の一献となった。



あわす肴
ゆで落花生 五八〇円

千葉県産のオーガニックなお酒には、やはり千葉の名産「落花生」だ。塩味だけで茹で上げた千葉産落花生、この素朴な味が生酛純米酒の自然酒によく合う。それに、この粒の大きさが千葉産の醍醐味だ。大将が「小さな粒なら仕入れられないよ、でも殻の中身は見えないからくじ引だ」と笑っている。

忙しいときの「これ、食べといて」



酒/百楽門 特別純米 (奈良)
肴/山芋短冊ウニ醤油

五八献目

葛城酒造
百楽門 特別純米
原料米 備前雄町
精米歩合 六〇%
日本酒度 十一〇
酸度 一・八
アルコール分 一六%
産地 奈良県御所市名柄



本日の一献は「どぶろく」で有名な「葛城酒造」さんの特別純米「百楽門」を紹介。この「百楽門」の銘柄名は「家族や友人、自然などに常に感謝し、楽しい宴に興じ、心の門を開けましょう」との意味がある。

そんなお酒の飲み口は爽やかな香りがして、舌触りがまろやかに感じる、その後に酸が引き締めてくる。日本酒度十一〇の辛口だが、それほど辛さが主張しない、上品で優しい味わいの辛口酒だ。燗の温度はどの温度でも旨く呑める、そしてどんな料理にも合う万能食中酒だ！ 心の門を開け、今宵も杯を傾げるのだ。

酒/一歩己 純米原酒 (福島)
肴/銀ダラの西京焼き

五九献目

豊国酒造
一歩己 純米原酒
原料米 美山錦
精米歩合 五〇%
日本酒度 十一〇
酸度 一・五
アルコール分 一六%
産地 福島県石川郡古殿町竹貫



あわす肴 銀ダラの西京焼き 六五〇円

モダンなお酒なのだが、無性に純和風の肴が欲しくなった。そこで「銀ダラの西京焼き」、なぜ？ と聞かれれば、このお酒の伝統に基づいた古典醸法がそうさせたのかも（笑）、言わばお味噌も日本の古典的な醸造だから。白みそによく浸かり、ほどよい塩気と甘味がなじんだ、脂ののった銀ダラ〜！ 合わない訳がない。皮目は最後の楽しみで、ちびりちびり齧って、ああ〜いい肴です。

本日の一献は福島県・豊国酒造の銘柄をいただく。この酒蔵は、伝承の古典醸法により、みちのくならではの淡麗な美酒を造りつづけている。その中の看板銘柄「一歩己（いぶき）」は若い蔵元が「誰もがうなづける酒を造りたい」とそのため「焦らず、急がず、そして弛まず、一歩ずつ・・・」の思いを込めて造っている。

そのお酒はコンセプトの「伝統+モダン」通り、華やかな甘味と凝縮されたお米の旨味が一瞬にして口に広がる。その後に、ほのかな酸が湧き上がり、もう一度口内を染みませてもらえる、飽きのこないお酒だ。どの温度でもいいと感じるが、常温か人肌ぐらいが「モダン感」がより感じられる「ネオジャパネスク」な「一歩己（いぶき）」だ。



あわす肴
山芋短冊ウニ醤油 六〇〇円

奈良葛城地方の上品な辛口のお酒には、あまりこつていない素朴な肴がいい、そこで「山芋短冊」をチョイス。これがただの「山芋短冊」ではないのだ、それは「ウニ醤油」がかかっているからだ。この「ウニ醤油」は、甘口の九州醤油にウニをふんだん（笑）に溶いている醤油なのです。たんぱくな山芋の食感を染しみ、追いかけるように濃厚なウニの香りが口内に充満！ プラス青のりの磯の味がいいアクセントになっている、山と海のアンサンブルなのだ。



本誌からのお知らせ

ソノひびヨリ

次号予告 (4~6月・初夏号)

連載
ソノひびヨリ
第二六話 福岡県・門司
名建築をひたすら巡る



門司
大阪商船
三井船舶跡



熊本県 阿蘇

第二七話 熊本県・阿蘇
阿蘇パワーをいただきます

選歴前、写真家の「写して候・寄って候」
天皇御陵踏破の旅

第十回 鎌倉時代・後期
八九代 後深草天皇陵から

おれがむらただ一合一肴 六二献目から
四季桜(栃木)、開運(静岡)、都美人(兵庫)その他

旅を始める前に
第十回 船旅のスヌメ、海を進め。

mofmof 推し歩き 第六回
世界拳闘紀行 第十話



89代 後深草天皇陵



特集

やえま道行 2014 8 overlap Road movie 2014

※記事内容は一部変更になる可能性があります。



西表島沖
パラス島

編集旅後記

コロナ予防のマスクは外せても花粉症でマスクが外せない・・・。それでも旅にでる(笑)。

今年は桜の開花が早いらしい、その前にいち早く花粉は飛散している・・・。せっかくなので、マスクを外せるようになったのに、いまだマスクを付けたままの状態に旅にでていきます(苦笑)。

でも、新型コロナが類相対からの類への引き下げて旅に出やすくなりました。本当に良かったですね。今春、私こと「またたび編集員」は数年振りの八重山旅行を企画。ただ行くには、まだまだ気を配りますね。離島には病院がないうえに高齢者が多いからです。最深の注意を払って旅に出るつもりです。

他の同志たちも動き出しています！動物愛の強い「やまんなかタヌキ」さんは、長らく念願の「長崎バイオパーク」を訪ねて数多くの動物と触れ合ってきたと話していました。次号でも、その記事の続編が掲載予定です。「訪問日か雨であまりいい写真がない」と言っていました(笑)。

最年長の同志、我が赤木翁は「天皇陵踏破の旅」を黙々と続けています。最近御陵だけでなく、「火葬塚」も追いかけていて、島根県の隠岐や新潟県の佐渡島まで行っているのです。そのバイタリティーには頭が下がりますね。ただ、旅先で「あつかましい高齢者」だけににはならないで下さいね！

そして編集長などは、去年秋に「〇数年振りに恩師と再会を果たし、その方(画家です)の個展に行かれるそうです。ちょうど、桜が咲き満開の倉敷に！

「先生と花見でもするか、倉敷川のほとりで(笑)」。

良いですよ「桜」、今年は声を出して花見できます、呑み過ぎには注意してください！

では、みなさま来年もよろしく「愛読ください」。

編集部一同



酒 / 五歳一田純青 ver. 生酛純米吟醸 (兵庫)
肴 / だしのせ冷奴

六〇献目

富久錦株式会社
HYOSKURA 五歳一田
純青 ver. 生酛純米吟醸
原料米 山田錦 (加西市契約栽培)
精米歩合 六〇%
日本酒度 十三 酸度 一・七
アルコール分 一五・八%
産地 兵庫県加西市三口町

兵庫県
加西市

あわす肴
山形のだしのせ冷奴 四五〇円

生酛純米吟醸を楽しむためには、邪魔しない肴がいい！メニュー黒板を見れば、いいのがあった。冷奴に山形のだしをのせた「山形のだしのせ冷奴」。「山形のだし」とは、よく冷やした野菜を、五ミリ程度に粗くみじん切りにして混ぜ合わせ、醤油、酒、鰹つゆなどで味付けする郷土料理だ。基本、「山形のだし」の料理だが燗酒で暑く火照った体にはちょうどいい肴だ。

今宵の一献は、兵庫5歳の若手たちが「コロナ禍をみんなで乗り切ろう」と起ち上がった、新プロジェクト「HYOSKURA」の中から「富久錦さん」「五歳一田純青 version 生」をいただく。このプロジェクトはユニークで、銘柄の「五歳一田(ごくらいちでん)」如く、ひとつの田から穫れた原料米を五つの蔵が独自の醸造で、5種類のお酒を造ったのだ。謂わば、異父五兄弟の一人が「五歳一田純青 version 生」なのだ。その風味は、フレッシュなのに旨味を感じさせ、アクセントに少し雑味を感じさせる、面白いお酒だ。

酒 / 日高見超辛口純米酒 (宮城)
肴 / うおぜの唐揚げ

六一献目

平孝酒造
日高見超辛口純米酒
原料米 ひとめぼれ 精米歩合 六〇%
日本酒度 十一 酸度 一・七
アルコール分 一五・一六%
産地 宮城県石巻市清水町

宮城県
石巻市

あわす肴 うおぜの唐揚げ 七八〇円

蔵元が「魚でやるなら日高見だっちゃ」と言うくらい、魚料理との相性がいい。だから当然、肴には魚を選ぼう。刺身でもいいのだけれど、パンチある超辛口に負けてしまふ、そこで「うおぜ(シズ)」の唐揚げ」を選択。この魚の旬は春から夏で、身離れがよく旨みがあり独特のクセがあるのが旨い！

その「うおぜ(シズ)」を低温でじっくり唐揚げ、頭からガブリ！ 背骨もい酒の肴になるんだよ。

今日の一献は、北の漁師が愛してやまない超辛口の本だ！ 東北三陸の漁師町として有名な宮城県石巻から「平孝酒造」さんの「日高見超辛口純米酒」を紹介。まずは、冷やで「一口「おお、辛い」」だけ旨味とコクがしっかりとある、酸も全体を引き締めて形がしっかりした酒だ。では、いつもの如く燗でいただく、辛みの角が取れぬ旨み甘みが顔を出した巨酒だ。これは完全に燗向きのお酒です！

